

きっさかほんほるいおよ きっさかふぞくほるい
18. 吉坂本堡壘及び吉坂附属堡壘

所在地：福井県大飯郡高浜町蒜畠、六路谷地係

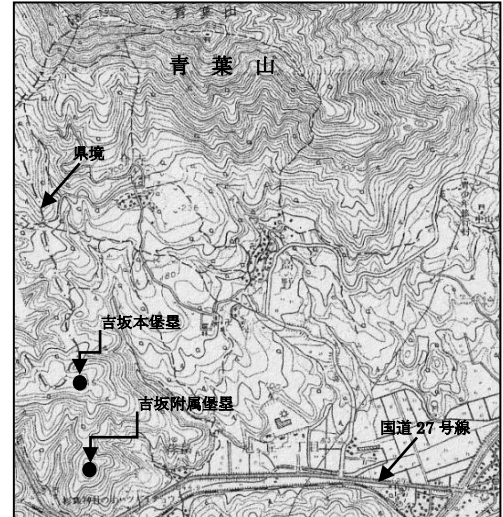
調査原因：詳細測量図作成のため

調査期間：平成 29 年 7 月 11 日～平成 30 年 3 月 13 日

調査主体：高浜町教育委員会（郷土資料館）

調査面積：約 42,500 m²（ただし測量範囲）

時代：近代（明治 33 年着工～35 年竣工）



位置図 (S=1/50,000)

調査の概要 平成 28 年度には、遺構を含む 120,000 m²の範囲にレーザ測量を実施しましたが、本年度は取りきれなかった遺構を発掘調査により検出した後、1/100 の詳細測量図を手測りで測量しました。足かけ 8 か月の調査期間となりましたが、途中 10 月下旬～2 月一杯は他所の試掘調査や積雪、また台風 21 号による作業道崩落の復旧のため現場作業を中断しました。100 年ほど前の遺構ということで掘削の土量は多くないと考えていましたが、縦横に伸びる木の根や笹竹、雑木伐採のため作業は難航しました。

なお、委託による測量と発掘調査は相前後しての現場作業となりましたが、随時打ち合わせを行い、発掘成果を漏れなく測量図に記載するよう努めました。

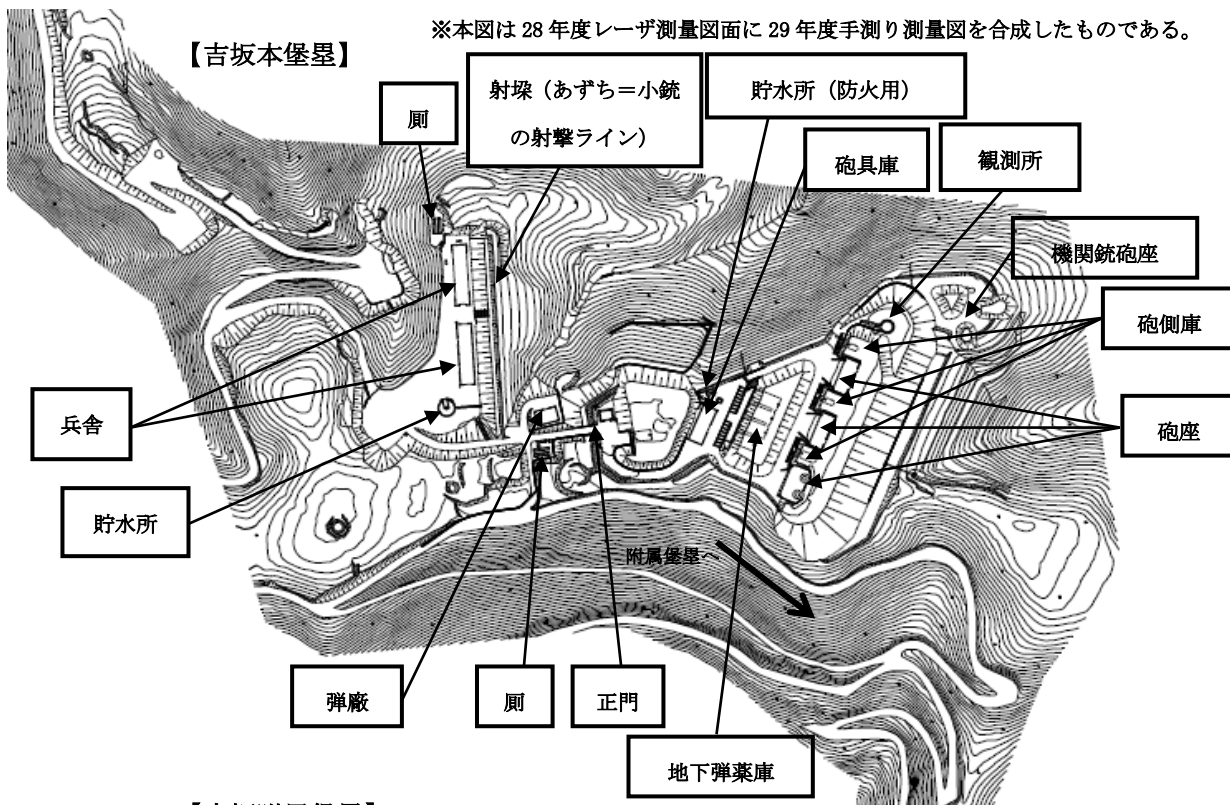
遺構 本堡壘は標高 242m の高所に所在し、人の出入りが頻繁でなかったこともあって、特に地下遺構はほぼ完全に残っていました。地上には観測所、砲座（6 門）、砲側庫、砲具庫、弾廠、貯水所、兵舎、厠（便所）などの基礎が確認されました。遺構はベトン（コンクリート）、石、レンガなどの素材が使用され、鉄などは徴用されたのか、ほとんど撤去されていました。附属堡壘も同様の状況で、地下遺構と砲座（2 門）、弾廠、砲具庫、竈（かまど）、貯水所などの基礎が残存していました。

遺物 本堡壘正門近くで全長 54.3 cm の刀剣 1 振が出土しました。また附属堡壘との連絡道に舞鶴要塞群を示す石製標識 2 基を発見しました。地上建造物で遺されたものはありませんが、使用されていたレンガ、石材は散乱していたものを採取しました。

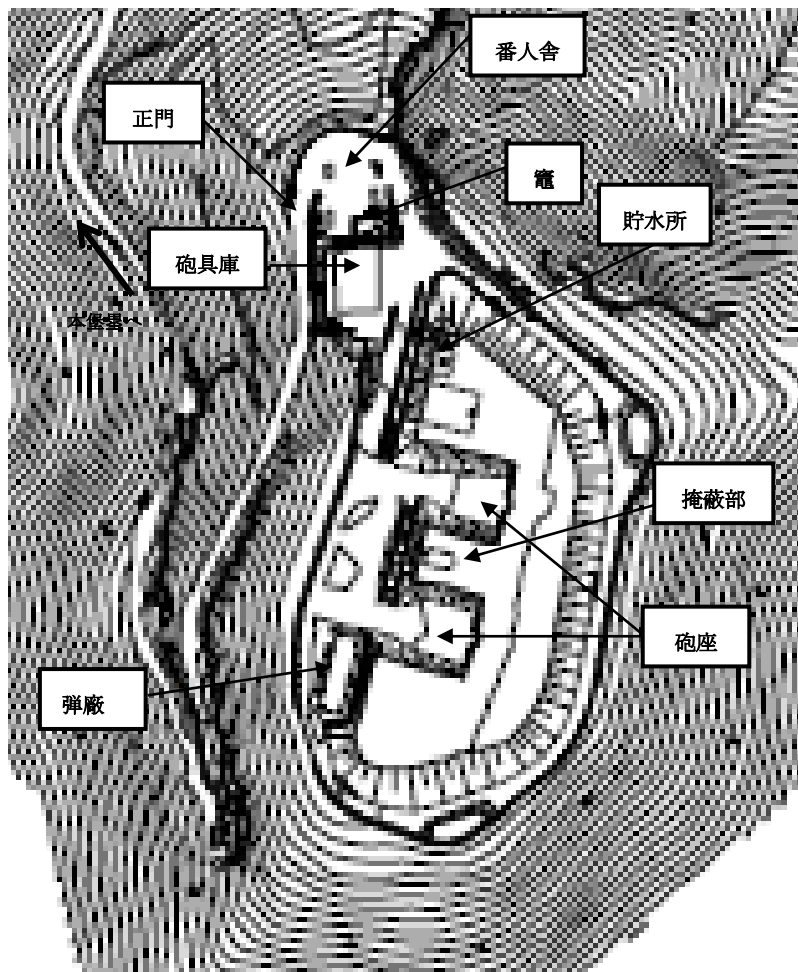
まとめ 当初、文献等でほぼ遺跡の内容は把握していたつもりでしたが、これまで確認できていなかった階段や遺構を予想以上に検出することができました。その結果、当時としては最先端の技術と物資を投入して造られた戦争遺跡であることが確認できました。遺構だけでもかなりの広さの遺跡であるため、今回の調査では掘りきれなかった部分も大きく、解明できなかったことも多く残っていますが、将来の遺跡保護に向けての基礎資料を得ることができたと考えています。（安倍義治）

※本図は 28 年度レーザ測量図面に 29 年度手測り測量図を合成したものである。

【吉坂本堡壘】



【吉坂附属堡壘】



【遺構写真】



兵舎跡（2棟が直列・調査前）



兵舎跡（2棟が直列・調査後）



兵舎と射塚を結ぶ階段（調査前）



兵舎と射塚を結ぶ階段（調査後）



貯水所（調査後）



（砲座設置跡・調査後）